

# ご挨拶

- ①出身地    ②研究内容
- ③趣味      ④好きな言葉



## 就任のご挨拶

**相川 友直** 大学院医系科学研究科 歯学分野 口腔外科学 教授

- ①広島県    ②口腔外科疾患における骨吸収機序の解明
- ③食べ歩き（B級グルメです）    ④プロフェッショナル

令和4年1月1日付で、大学院医系科学研究科 口腔外科学の教授を拝命いたしました相川 友直です。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。

私は福山市出身で、岡山県の金光学園高校から広島大学 歯学部に入學しました。平成2年に卒業後は大阪大学 大学院歯学研究科 口腔外科学第一教室で骨代謝研究に取り組み、マサチューセッツ総合病院 内分泌部門へ研究留学後も、継続して大阪大学で研究と臨床に従事してまいりました。現在は、腫瘍や顎関節疾患などで生じる骨吸収機序の解明に取り組んでおります。診療面では、顎変形症の治療や口唇裂口蓋裂などの先天異常の治療を専門に取り組んでまいりました。

31年ぶりの広島大学ですが、今までの経験をもとに当教室スタッフと力を合わせ、より良い臨床と研究を目指し、一人でも多くの“プロ”の医療人・大学人を育成したいと思っております。皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 就任のご挨拶

**野村 良太** 大学院医系科学研究科 歯学分野 小児歯科学 教授

- ①愛知県    ②口腔細菌（主にレンサ球菌）が全身に及ぼす影響に関する研究
- ③広島を散策・ドライブすること    ④初心忘るべからず

令和4年2月1日付で大学院医系科学研究科 小児歯科学の教授を拝命しました野村 良太と申します。

私は、平成14年に大阪大学 歯学部を卒業後、大嶋 隆先生が主宰されておりました大阪大学 大学院歯学研究科 小児歯科学教室に入局しました。大阪大学の小児歯科学教室では、仲野 和彦先生に師事し、乳幼児期に定着するとされる齲蝕原性細菌*Streptococcus mutans*に着目した研究に取り組んできました。これまでに、多くの被験者の方から採取した唾液やデンタルプラークから*S. mutans*を分離することにより、特殊な菌体表層構造を有する*S. mutans*が一定の割合で存在することを見つけ出し、そのような菌が感染性心内膜炎や脳出血などの循環器疾患において高い病原性を有することを明らかにしてきました。

浅学の身ではございますが、広島大学のさらなる発展に全力を尽くしたいと考えています。皆様方におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。